

ロボット ドローイング

グレゴリー ヒルトン

現代はAIの時代である。3Dプリントやドローンに見られる科学技術の発展は目覚ましく、再生可能エネルギーはこの地球上、いや、この惑星における人間の暮らしをより良きものに行っている。

今日まで絵を描くために様々な道具を試してきたが、納得のいくような結果がなかなか出ず、試行錯誤していた。そんなある時、掃除機のルンバが使えるということに気づいた。掃除機はゴミを吸いこむものであるが、先に支持体に顔料を撒き、その上にルンバを放置するとルンバは工場プログラミングされた通りに動き回り、吸引するという機能性がかえって幸いして、良い結果が生まれた。これは想像以上の仕上がりだった。もちろん、支持体を事前に準備することはキャンバスであれ、紙であれ制作工程において重要な部分を占める。ルンバ自体は大きい空間に向かって動く習性があるので、キャンバスや、紙を超えて移動しないように周りにルンバがぶつかっても倒れないようなしっかりした柵を用意しなければならなかった。こうやって仕上がった絵は私が球形*の美しさから感じる平穏感や落ち着きを迎え入れるような感覚を彷彿とさせている。

スフィアイズムは新しいキュビズムである。球形と円、秒と分、時間と日、週と月、数年と単位と数十年という単位、数世紀と数千年という単位。この惑星はまだ完全にアップロードされていない。私たちは未来へ遡っている。絵画はこれを記録している。言うなればアーティストは絵画によってキャンバスや紙に活力を取り戻すレポーターだ。理論的には宇宙のリズムに合っているかどうかは問題ではない。人の一生は地球の寿命に比べれば短いものだし、宇宙の寿命に比べればなおさらそうなのである。

球形* = sphere = スフィア